

# 会報 太陽の会

## お大師様の」とば(第46回)

四つを加えて八苦と言います。

愛別離苦(あいべりく)とは愛する者と別れる苦しみ、怨憎会苦(おんぞうとは怨み憎んで

生きる苦しみ、死の恐怖、老いることへの憂い、病気の苦痛、貧乏の苦しみ、財産がある故の苦しみなどの八苦や、地獄・餓鬼・畜生の三悪道をさまよう苦しみに、私達は責められている。天上の世界でさえ安らかでないのだから、人間の世界が苦しみに満ちているのは当然である

### 『平城天皇灌頂文』

#### ●人生は苦しみから逃れられない

大変な苦労をすることを「四苦八苦」といいますが、これは、もともとは仏教用語から来ています。四苦とは生老病死、すなわち「生まれること・老いること・病気になること・死ぬこと」をいう、四つの人間の根源的な苦しみをあらわしていて、仏教では、この四苦を人間の本源的な苦しみであると位置づけているのです。

この四苦に、愛別離苦(あいべりく)・

怨憎会苦(おんぞうえく)・求不得苦(ぐ

ふとく)・五陰盛苦(ごいんじょうく)の

ふとく)・五陰盛苦(ごいんじょうく)の



人々を救う四つの徳という意味ですが、それは布施(施し)をあたえること・愛語(慈悲のこも

空海のことば池口惠觀書より)

た言葉)・利行(他人のためになる行為)・同事(他人と協力すること)をいいます。

また、「八正道」という教えもあります。これは八つの正しい実践徳目のことです。正見(正しい見解)・正思(正しい思い)・正語(正しい言葉)・正業(正しい行ない)・正命(正しい生活)・正精進(正しい努力)・正念(正しい心の落ち着き)・正定(正しい精神統一)で、いわれてみれば、すべて当たり前のことです。

仏教は、こうした簡単にできそうな正しいこ



とを、現実の日常生活の中で実践していくことによって、四苦八苦の苦しみを乗り越えられるといってきたのです。古代中国の『易經』には、「積善の家には余慶あり」とあります。「善行を積んだ家には余るほど

の慶びが訪れる」というのです。



佛さまを信じて一生懸命祈り、日々、世のため人の為、佛さまの教えに則った正しい生活をして、いれば、喜びがもたらされ、ストレスのない「安心」の境地が得られるのです。

例えば「四摄事」の教えです。四摄事とは、

人々を救う四つの徳という意味ですが、それは

お盆迎えの八月十三日(水)、お彼岸中日秋分日の九月二十三日(火)、太陽の塔高天原で、ご先祖・ご家族のご供養を執り行いました

## 高天原法要の「報告」



盂蘭盆会

午後：真言宗



盂蘭盆会

午前：浄土真宗



秋彼岸

午前：浄土真宗



秋彼岸

午後：真言宗



両日とも、たいへん暑い一日でありましたが、足をお運びいただきました皆様、お参りありがとうございました。

**もちつき大会の「案内」**

去年に引き続き今年も、もちつき大会を開催することになりました。持ち帰り用のお餅やその場で食べて頂くおもち等をご用意します。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。お待ちしております。

**開催日** 令和7年12月20日(土)  
**開催場所** 太陽の塔高天原  
**開始時間** 10時～



## 供養祭中止のお知らせ

令和7年後期に開催を予定しておりました北道後太陽靈園、海田太陽靈園、金甲山太陽靈園での合同供養祭につきまして、諸事情により中止とさせて頂くことになりました。

毎年楽しみにお待ち頂いていた皆様には大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

去年の開催予定が決まりましたら、次号の会報(令和8年3月1日発行予定)等でお知らせいたします。

# 「彼岸」四方山(よもや)話



今回は、お彼岸に関してのお話です。

私たちちは、春分・秋分の日前後3日を加えた7日間のことを「お彼岸」と呼んでいます、お彼岸週間ですね。春分・秋分の日は

太陽の動きを天文台が調べて、その年ごとに決定するので、毎年必ず決まった日にちというわけではないんです。微調整が必要な閏年(うるうどし)みたいな感じです。ちなみに今年の秋のお彼岸は九月二十三日、来年の春のお彼岸は三月二十日です。

お彼岸と言つて思い浮かべるのは、先祖供養などのお墓参りではないでしょうか。実は、お彼岸が仏教行事の期間とされているのは日本だけなんです。仏教の生まれたインドにも、仏教を伝えた中国にもありません。お彼岸は日本独自の習慣、文化になるんですね。



彼岸に渡る、とか彼岸に至る、なんていふ言葉がありますが、これは、欲をなくし心の乱れない悟りの世界へ行くこと、つまり悟りの境地を得る、悟るということです。彼岸に至る(悟りを得ること)を、イニシアチブの言葉で「パーラミター」と云うんですが、漢字にすると「波羅蜜多」(はらみつた)この漢字は原語の音写で意味はないんですけど、「はらみつた」は般若心経にも登場しますね。先程日本独自の風習といいましたが、何もないところから墓参りの日としたわけではなく、仏教との繋がりの中で生まれてきたのがお彼岸なんです。



春分秋分の日は、太陽は真東から昇り真西へ沈みます。これを日本人は特別な事ととらえたんです。仏教が伝わる以前から、自然や太陽、ご先祖を敬う気持ちを備える日本人の心と、仏教への信仰心が重なつて生まれた文化がお彼岸です。

太陽の沈む西には、あの有名な「西方極楽浄土」がありますよね、又、春分秋分の日には昼夜が大体同じ長さになります、ということは、あちら側とこちら側、あの世との世が接近するんじゃないかな、近くなってるんじやないか、だから墓参りに行こう!と考えたわけです。

(秋のお彼岸の法話より)

同じ先祖供養でも、お盆とお彼岸では意味合いが違います。お盆は「先祖が帰ってきてくれるイメージをお持ちだと思うんですですが、お彼岸は、私たちが歩み寄り、思いをはせて手を合わせるといった感覚でしょうか。

一年に一回しかない特別な日に、悟りの世界にいる「先祖」への想いをはせる彼岸の時。私たちもいずれ必ず向かう場所であるあちら側は、こちらから何も持つて行くことはできません。財産・地位・名譽、今私たちが大切だと思い執着しているものは、何一つ持つていけませんし、必要でもなさそうですね。しかし、今いる世界での善い行いによる功徳は大きな力になってくれそうです。

お墓参りというのは、心を素直にさせてくれるもので、自分と向き合い、振り返り、今の在り方をしつかり考えようよ、欲ばかりの自分になつていませんか?努力を惜しまず、我慢も必要、足元をしつかり見て生きていく、そしていざれあちら側へ渡る時、胸を張つてみたいですよね。今回は、お彼岸の意と、お彼岸の意味合いのお話をさせていただきました。

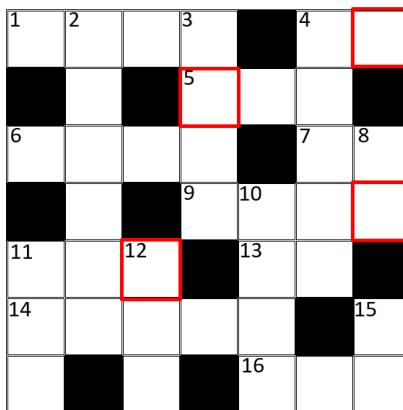


## クロスワードパズルにチャレンジ!!

ヒントを元に、マスに言葉を当てはめてください・赤枠に入る文字を並べて出来る

5 文字の言葉はなんでしょう?

ヒント★冬の始まり



### 【たてのかぎ】

贈り物として使われる商品券

別の物に、においが取り込まれること。

建築工事で、高所での作業を専門とする職人

国の最高権力者。君主



11 10 8 地中や岩間からわき出る、清らかに  
むかし すんだ水

戦争などで敵に捕らえられた人。  
捕虜

根性。強い意志。無理やりでもやりとげようと/orする心

### 【よのかぎ】

仕事をする」と。「〇〇〇〇員」  
つばさを持ち、体が羽毛でおおわれて  
いる動物



火力の強い火。「〇〇〇で五分」  
グループ。集団。集まっているもの

海水や地中からとれる白くて辛い物  
かいつまんまとめた要点

座席。席

動物の骨を包んでいたやわらかな物  
質

動物と植物の両方の特徴を持つ微生物

保育施設の子ども

赤枠の5文字を並べて出来た言葉を記入

して、下記宛先までご応募ください。  
正解された方の中から抽選で景品をご用意しておりますのでお楽しみに!

【締切】令和7年12月末日(当日消印有効)

### 【第128号の答え】

たくさんのご応募ありがとうございました。第126号の答えは『シンマイ』でした。皆さんいかがでしたか?

### 【当選者の発表】

広島市 田公 様 安芸郡 岡本 様  
福山市 中島 様 岡山市 池田 様  
倉敷市 吉田 様

以上5名様、ご当選おめでとうございました。当選された方には、「岡山産のお米(きぬむすめ)」をお送りしました。



85

〒700-0942

岡山市南区豊成2丁目10番113号

(宗) 円蔵院太陽の会  
岡山事務局会  
クイズ係  
行

#### ・クイズの答え

赤枠の文字を並べて出来た5文字の言葉を記入してお送りください。

- ・今回の良かった記事
- ・掲載を希望する記事
- ・ご意見ご感想

〒 住所

電話番号

会員番号

氏名 年齢